

課題名

難治がん患者のQOLを劇的に改善する新規抗がん剤の開発

プロジェクトの概要

抗がん剤治療における課題として、強い副作用が挙げられる。特に難治がん患者においては、がんの悪性化に関与している腫瘍低酸素部位に薬剤が届かないため、効果が低く、患者のQOLを下げている。我々の技術は、抗がん剤の副作用を劇的に下げ、腫瘍低酸素部位に確実に薬剤を届ける技術である。患者に優しく効果の高い抗がん剤開発を目指す。



ビジネスモデル(申請時)

ドキソルビシン・ゲムシタビン・分子標的薬を含む抗がん剤の低酸素環境応答性プロドラッグを既に開発している。さらに放射線と組み合わせた化学放射線療法への展開も行っている。これらの技術を難治がんを標的とした抗がん剤開発へと展開する。

活動計画(申請時)

開発候補品の薬剤動態・安全性に関するデータを取得する。また製法及び製剤に関するデータを取得し知財を強化する。並行して特許及び市場に関する調査を行い事業計画のブラッシュアップを行う。

活動期間後半には想定顧客である製薬企業に対するパートナーリング活動、資金活動のための国内VCへのアプローチとAMED、NEDO、JST等への開発資金獲得の戦略を策定する。

